

2006年4月にスタートした薬学教育6年制は、『チーム医療の一員として、臨床的能力をもつ医療人である薬剤師の育成』を目指しています。この6年制に対応した薬剤師国家試験の2回目である第98回薬剤師国家試験は、13年3月2日、3日の両日に全国9試験地の会場で実施されます。前回の第97回薬剤師国家試験は比較的やさしい試験であり、新卒者の合格率は近年では最も高く95.3%で、8182人の6年制を卒業した薬剤師が誕生して社会に巣立ちました。しかし第98回は、前回ほどやさしくなることはなく、難しくなるという予想です。前回まで「出題領域別のポイントと勉強の指針」を紹介してきました。今回は、第98回薬剤師国家試験まで2カ月あまり、合格を勝ち取る直前期の取り組み方やこれだけは勉強してほしいポイントを紹介します。

「薬剤師国家試験の概要」から見える合格のポイント

① 医療系の問題が多い

国家試験の試験期日、試験地、試験領域・出題数・出題形式、試験時間、合格基準などを再確認して、合格へ向かって進んでください。また出題は厚生労働省から出された「薬剤師国家試験出題基準」に沿った内容で出題されます。出題基準が記載されている参考書を用いてください。必須問題（90問）と一般問題（255問）の合計345題の出題です。試験領域は、「物理・化学・生物」「衛生」「薬理」「薬剤」「病態・薬物治療」「法規・制度・倫理」「実務」の7領域です。各領域の出題数は（表1）で示すように医療系（「薬理」「薬剤」「病態・薬物治療」「実務」）が215題で、従来の国家試験に比べ120題増加しています。また「実務」の出題は95題で、5年次から始まる「長期実務実習」の成果を確認する問題が多く含まれています。このように6年制の国家試験は、実際の医療現場で直面する問題などに特化したものであることが分かります。直前期は、医療系を中心に特に実務に力を入れてください。

試験は、領域別に行うのではなく、薬学全領域を出題の対象として、「必須問題」と「一般問題」とに分け、さらに一般問題を「薬学理論問題」と「薬学実践問題」とした3区分で試験を実施されます。（表2）に示すように、それぞれの休み時間には何を勉強するか、試験当日に持参する教材等は何にするかを決めてください。また模擬試験で慣れているとは思いますが、試験は

② 試験時間を確認する

2日間で実施され、「必須問題」は1問1分、「一般問題」は1問2.5分で解く時間配分です。つまり必須問題は5肢択一のやさしい問題ですが、一般問題は、暗記だけでなく理解力を必要とする問題が出題されることが分かります。また、実践に即した問題抽出・解決能力を確認するために、実践の場で取り得る選択肢の中から「最も適切なもの」を選択する問題や、実践の場で取り得る明らかに「誤り」である選択肢を選択、または最も重要性が低い選択

第98回薬剤師国家試験 本番直前講座

～最終チェックポイント～

学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール副学長 木暮 喜久子

表1 新薬剤師国家試験の出題区分と出題数

領域	出題区分				出題数計
	必須問題	一般問題	薬学理論問題	薬学実践問題	
物理・化学・生物	15問	45問	30問	15問 (複合問題)	60問
衛生	10問	30問	20問	10問 (複合問題)	40問
薬理	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
薬剤	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
病態・薬物治療	15問	25問	15問	10問 (複合問題)	40問
法規・制度・倫理	10問	20問	10問	10問 (複合問題)	30問
実務	10問	85問	—	20問+65問 (複合問題)	95問
出題数計	90問	255問	105問	150問	345問

表2 試験時間と問題区分

時間		問題区分及び領域	
第1日	9:30—11:00	必須問題試験	物理・化学・生物、衛生、薬理、薬剤 病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務
	12:30—15:00	一般問題試験 (薬学理論問題)	物理・化学・生物、衛生、法規・制度・倫理
	15:50—17:45	一般問題試験 (薬学理論問題)	薬理、薬剤、病態・薬物治療
第2日	9:30—11:35	一般問題試験 (薬学実践問題)	物理・化学・生物、衛生、【実務】*
	13:00—14:40	一般問題試験 (薬学実践問題)	薬理、薬剤、【実務】*
	15:30—18:00	一般問題試験 (薬学実践問題)	病態・薬物治療、法規・制度・倫理、実務、【実務】*

*【実務】*は、実務以外の科目と関連させた複合問題として出題されるもの
*必須問題は1問1分、一般問題は1問2.5分で解く

肢を選択する問題など多く出題されることも知っておいてください。

③ 「必須問題」「薬学理論問題」「薬学実践問題」の直前対策

1)「必須問題」は、出題基準に沿

った基本的な問題が多く、第97回では88.4%の正答率でした。全体の約1／4を占めるこの「必須問題」を仮に90%得点すれば、「一般問題」は56.5%得点すればよいことになります。直前期は、この必須問題対策が大切です。答えを覚えるのではなく理解

➤



セガミメディクス株式会社



調剤&OTC両方出来る専門性の高い薬剤師を育成

当社は創業70年を越える老舗の企業で、一貫して専門性の高い調剤&ドラッグを目指してまいりました。調剤では、年間180万枚の処方箋を応需し、調剤報酬額も140億円を越える企業であり、複数の訓練された先輩薬剤師がいる中で安心してしっかりと調剤を学べる環境があります。またOTCにおいてもカウンセリングを重視した専門性の高い業態を展開し、気軽に病気や薬についてアドバイスを受けられる健康相談窓口として地域社会に貢献しています。



<http://www.segami.co.jp/>

☎ 0120-999-041

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-7-30

創業：昭和12年 / 資本金：9,500万円 / 店舗数：381店(平成24年3月末時点) / 従業員数：3,183名(平成24年2月末時点 ※パート8h換算) / 売上高：1,005億円(平成24年3月期) / 代表取締役社長 上原 俊二

セガミの強み

育休等も充実、働きやすい環境

社内はアットホームな雰囲気が溢れており、一度馴染むと長く勤務される方が多く、一度退職してもまた復帰する社員が多いのが特徴です。育児休暇や時短勤務制度が充実しており、様々なライフスタイルにあわせたキャリア形成が可能で、じっくりと腰を据えて個々のキャリアアップを目指していくことができる環境が整っています。



充実の教育制度

専門性の高い薬剤師を育成するための教育に力を入れています。新入社員教育を始め薬剤師教育、調剤研修、CA（チーフ・アドバイザー）教育や店長教育などの職能別教育の他、自分のペースで勉強できるe-ラーニング、問題解決能力や資質向上を目指す等級別教育等、各種教育を充実させ、知識と豊かな人間性を併せ持った薬剤師の育成に努めています。

